

「しごと活性」、「ひとづくり」、「まちづくり」の指標検証について

平成28年度

施策分野	重要業績評価指標(KPI)				所管課の評価・効果検証			次年度以降の見通し	検証委員会の意見
	指標	基準値 (H26)	目標値 (H32)	実績値 (H28)	指標向上に結び付いた 取り組み	評価	評価の理由		
戦略1 「しごと活性」の目標									
漁業生産基盤の 復旧と資源回復	アワビ漁獲量 (t)				・アワビ等種苗放流事業費補助金	C	アワビは種苗放流から3年程度で漁獲サイズとなることから、現時点で効果の検証ができないが、種苗放流により資源は回復しているものと思われるため	引き続き漁協が行う種苗放流事業に対し、助成を実施	・種苗放流と同時に山田の海を守る(合成洗剤追放)運動を行うべきと思う。 ・種苗生産施設をもつ漁協と比して放流数が少ない。合わせて磯焼け対策が必要である。
		21	45	19					
	殻付きカキ生産量 (千粒)				・養殖漁業付着物対策事業補助金 ・水産業復旧緊急支援対策事業費補助金	C	生産量が順調に増えているため	養殖漁業の実情に応じた支援を継続	・補助金だけではなく、その他の支援の方法を考えるべき。 ・生産量は横ばい、出荷先の拡大と単価アップが課題である。 ・ノロウイルス対策も必要と考える。
		3,400	7,000	4,006					
農林業の振興	道の駅年間利用者 (人)				・道の駅推進事業	D	震災による人口減や観光客の減により、復興関連工事関係者の入込を加えてもなお、震災前の利用者数に達していない	道の駅リニューアル事業によりトイレ棟の改修(洋式化)を行い、利用者が施設を快適に利用できるよう努める	・洗剤のにおいがきついことがある。またトイレが暗く感じるので明るくした方がよい。 ・インフォメーションの場所が狭い印象を受ける。 ・観光協会への呼びかけも必要と考える。 ・三陸道全面開通後の素通り観光客を以下に足止めできるかが課題である。山田町ならではの魅力を発信しなければならないと考える。 ・駐車場が狭い印象を受ける。 ・山田町をPRする土産コーナーに改善の余地があると感じる。
		180,584	190,000	163,296					

「しごと活性」、「ひとづくり」、「まちづくり」の指標検証について

平成28年度

施策分野	重要業績評価指標(KPI)				所管課の評価・効果検証			次年度以降の見通し	検証委員会の意見
	指標	基準値 (H26)	目標値 (H32)	実績値 (H28)	指標向上に結び付いた 取り組み	評価	評価の理由		
戦略1 「しごと活性」の目標									
	農林業の振興	乾シイタケ生産量 (t)	4	16	・特用林産施設体制整備復興事業(補助金) ・特用林産物生産促進支援事業(補助金)	D	放射性物質による出荷制限に加え、高齢化による生産者の減少が影響している	生産量の拡大及び品質向上並びに出荷制限解除に向けた取り組みに対し支援する	・出荷制限が解除されれば、生産量も向上するものと考えているが、楽観視はできないと感じる。 ・危機的な状況と感じる。職員も生産に直接関与する等、何かしらの対策が必要である。
	生シイタケ生産量 (t)	0	2	1	・特用林産施設体制整備復興事業(補助金) ・特用林産物生産促進支援事業(補助金)	C	放射性物質による出荷制限に加え、高齢化による生産者の減少が影響している	生産量の拡大及び品質向上並びに出荷制限解除に向けた取り組みに対し支援する	・危機的な状況と感じる。職員も生産に直接関与する等、何かしらの対策が必要である。
	観光業の振興	観光入込者数 (千人回)	330	660	・新しい観光創出事業	C	体験観光の推進組織により観光客の受入体制が整いつつある	観光資源の整備・活用と情報発信の強化を進める。	・観光で終わらず、宿泊までが大切である。リピーターが来れる山田町を考える必要がある。 ・体験観光と道の駅、鯨館、カキ小屋等の施設との連携による観光業の振興が必要である。 ・企画・立案・推進する人材が増えたことは素晴らしいことである。
戦略2 「ひとづくり」の目標	観光消費額 (億円)	37	75	39	・新しい観光創出事業	C	体験観光の推進組織により観光客の受入体制が整いつつある	観光資源の整備・活用と情報発信の強化を進める	
戦略2 「ひとづくり」の目標	漁業後継者・新規担い手の育成・支援	新規漁業就業者数 (人)	-	5	・豊かな浜の担い手育成支援事業 ・山田町漁業就業者育成事業	B	新規漁業就業者があったものの、担い手不足が解消されていないため	引き続き新規漁業就業者の育成を支援	・就業時間の不規則により、担い手の確保が難しい。安定した収入が得られるような対策が必要である。 ・支援対象者の条件を緩和する必要がある。

「しごと活性」、「ひとづくり」、「まちづくり」の指標検証について

平成28年度

施策分野	重要業績評価指標 (KPI)				所管課の評価・効果検証			次年度以降の見通し	検証委員会の意見	
	指標	基準値 (H26)	目標値 (H32)	実績値 (H28)	指標向上に結び付いた 取り組み	評価	評価の理由			
戦略2 「ひとづくり」の目標										
「ひと」が活躍する 環境づくり	たんぽぽ学級受講者数 (人)		300		・開催日と内容の工夫	D	少子化等の理由により参加者の減少に歯止めがかからないため	周知方法等工夫しつつ、引き続き事業を実施	・地域企業と連携して開催日の周知等連携する必要もあると考える。	
		606	700	245						
	家庭教育学級受講者数 (人)		1,100		・開催日と内容の工夫	A	事業開催日と内容を工夫することにより、参加者が増えている。	引き続き事業を実施		
		914	1,000	1,046						
	スポーツ大会 ・教室参加者数 (人)				・開催日と内容の工夫	C	大会・教室は開催したもの、開催期間の設定が短かったため参加者が伸び悩んだため	開催期間に工夫を凝らすなどしつつ、引き続き事業を実施		
		2,057	3,000	2,235						
	新規学卒者の地元就職への取り組み	新規学卒者町内就職率				・新規高卒者対象求人・求職情報交換会の実施 ・高校生仕事メッセin宮古の実施	A	宮古地域雇用対策協議会やハローワーク宮古との連携による情報提供に努めた。		引き続き就労機会の情報提供に努める
			6	10	16					
子どもの誕生を望む方への支援	特定不妊治療費助成事業利用者 (人)				・山田町特定不妊治療費助成事業	F	不妊治療の実態把握はデリケートなものであり、目標値設定は難しいため	引き続き助成事業を実施		
		-	10	3						

「しごと活性」、「ひとづくり」、「まちづくり」の指標検証について

平成28年度

施策分野	重要業績評価指標(KPI)				所管課の評価・効果検証			次年度以降の見通し	検証委員会の意見
	指標	基準値 (H26)	目標値 (H32)	実績値 (H28)	指標向上に結び付いた 取り組み	評価	評価の理由		
戦略3 「まちづくり」の目標									
住宅再建への 取り組み	町営住宅管理戸数 (戸)	204	681	401	・災害復興公営住宅整備事業	B	住宅完成に若干の遅れはあるもののおおむね順調に進んでいる	災害復興公営住宅の全戸完成に向け事業を推進	・意見なし
	宅地の引渡し件数 (件)	-	583	359	・防災集団移転促進事業 ・漁業集落防災機能強化事業	B	宅地整備後、おおむね順調に宅地の引渡しが進んでいる	山田地区(防集事業)の整備終了後、円滑な宅地引渡業務を推進	・意見なし
UIJターンへの 取り組み	移住に対する相談件数 (件)	-	10	2		D	復旧・復興を優先的に進めている中で、新たにUIJターン者向けの支援施策を打出せていないため	今年度実施する空き家実態調査を踏まえ、空き家バンク制度の導入を図る	・地域企業と連携することも必要である。
消防体制の充実	消防団員の充足率 (%)	84	90	80		C	人口減少が進む中で消防団員の確保に努めた	募集方法に工夫を凝らすなど、引き続き消防団員の確保を図る	・職場での理解と協力を得るために事業者への働きかけに力を入れるべきと考える。
	消防水利の充足率 (%)	56	67	60	・災害復旧などによる消防水利設置の促進	C	設置場所の配管条件や防火水槽設置用地選定に難航しているため	効果的な消防水利整備促進を図る	・意見なし

評価基準

A: 当町のまち・ひと・しごと創生に対し、非常に効果的であった。 C: 当町のまち・ひと・しごと創生に効果があった。 E: 事業を実施しなかった。
B: 当町のまち・ひと・しごと創生に対し、相当程度効果があつた。 D: 当町のまち・ひと・しごと創生に対して効果がなかった。 F: その他